

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

企業理念

絶えず先見的な特色ある製品を開発し、医療の世界に積極的に参加し、人類の健康・福祉に貢献する

売上高

120,000百万円

営業利益

12,000百万円

EBITDA+研究開発費

26,500百万円

② 中長期の経営戦略

1. コア事業の収益力強化

医薬事業主要新薬5品目の製品価値最大化と導入、フラッグシップ医薬品の価値拡大、バイオシミラー拡充。ヘルスケア事業の2大ブランド確立と販売網最適化

3. グローバル展開加速

海外事業室を中心とした組織横断的連携強化。エパデール、ジェノゲスト製剤、バイオマテリアル事業を中心とした海外展開進展

2. 成長事業の継続投資

バイオマテリアル事業の早期上市と生産性向上。siRNA医薬のリーディングカンパニー化。細胞医薬の早期事業化と企業提携

4. 財務戦略推進

利益水準向上と将来投資の両立によりROEやPBR向上。研究開発費360億円、設備投資50～100億円を計画

③ 対処すべき課題

① 新薬開発と承認取得

- ・トレプロスト吸入液の効能追加承認、RGB-19の製造販売承認申請
- ・MD-712導入による肺高血圧症治療剤開発、MD-352月経困難症治療剤の臨床試験開始

② 成長事業基盤の構築

- ・ReFeel神経再生誘導材の米国510(k)許可取得と販売開始
- ・SHED、REC、HLC-001の3つの細胞プロジェクト推進
- ・siRNA医薬、細胞医薬の研究開発と企業提携推進

③ 事業環境対応と海外展開

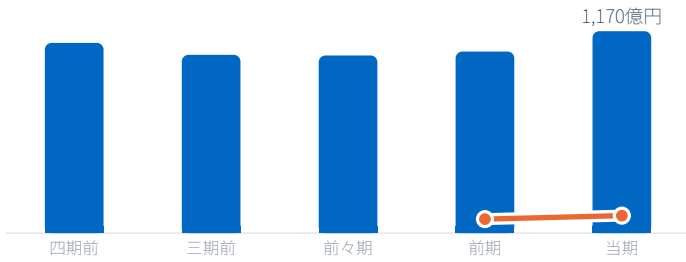
- ・エパデール販売で中国、韓国、ASEAN、台湾での契約締結
- ・インフラ活用によるイノベーション創出と生産性向上

面接で使えるポイント

- ・医薬品関連事業、バイオマテリアル事業、ヘルスケア事業の3事業を通じた人類の健康福祉貢献
- ・25-27中期経営計画で2027年度売上高120,000百万円達成に向けた成長戦略加速
- ・siRNA医薬、細胞医薬、バイオマテリアルといった創薬モダリティへの注力

証券コード 4534

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
1,170億円営業利益率
8.7%財務健康度
68点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 64.4（当サイト算出の参考指標）

平均年収
843万円

医薬品内 39位/80社

平均年齢
43.1歳

医薬品内 48位/80社

平均勤続
16.5年

医薬品内 14位/80社

女性管理職
12.4%

医薬品内 31位/41社

男性育休
87.5%

医薬品内 17位/35社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: 持田製薬(株)【4534】：決算情報

